

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

## ②施設・事業所情報

名称：ぶどうの実鷺沼園	種別：児童分野 認可保育所	
代表者氏名：馬場 ますみ	定員（利用人数）： 70名	
所在地： 川崎市宮前区鷺沼2-7-23		
TEL：044-870-7171	ホームページ： <a href="mailto:saginuma@budou-ki.co.jp">saginuma@budou-ki.co.jp</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日： 2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：		
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員 14名
専門職員	保育士：22 名	栄養士：2名
	調理員：2名	
施設・設備 の概要	（居室数） 保育室6室	（設備等） 事務室兼医務室、調理室、乳児トイレ、 幼児トイレ、多機能トイレ、保育備品 庫、職員休憩室、更衣室など

## ③理念・基本方針

保育理念  
シアワセな未来を創る”ひと”を育てる

保育目標  
一人ひとり大切に子ども主体の保育

保育方針

- ・勇気づけの保育
- ・裁かない保育
- ・見守る保育

## ④施設・事業所の特徴的な取組

一人ひとりを大切にしたい保育を展開するため、「子ども中心のカリキュラム」と「主題中心のカリキュラム」、両者を統合したカリキュラムを併用しています。

日常的な保育場面ではオランダで開発された幼児教育ピラミッドメソッドを導入しています。他者との違いや感情のコントロール、問題解決のスキルなどコミュニケーション構築能力をワークショップ形式で学べるセカンドステップ（1/週×28回）を3歳児より導入しています。幼児クラスは異年齢の縦割り保育を実施していて、個別の発達課題に配慮でき、年長児は思いやりを、年少児は憧れの思いなどで発達が促されます。

法人6園の年長児は、「つながり隊」としてつながりながら、数か月かけてプロジェクト型保育である「まちをつくっちゃおうプロジェクト」や「レインボーピースチャレンジ」の活動に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月25日（契約日） ～ 2021年11月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2013年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆子どもの主体性を尊重した保育を実施しています

保育士は、子どもに寄り添い子どもが安心感を持ち、信頼関係を築けるよう努めています。さらに、保育士は、子どもが遊びや生活体験を通してやる気が育ち自らが取り組めるよう、働きかけ援助しています。

幼児クラスは、テーマ性を持った「プロジェクト」という保育活動を実施していて、園の取組の社会貢献から「ひとをたすけるしごとってどんなこと」「やくにたつってなんだろう」などと自分たちで考え、調べ、身近なことの体験から自分たちでできる事を学んでいます。また、毎日の保育の中でサークルタイムなど子どもが自分の意見を発表する機会を作り、子どもたちは話し合っ自分たちでルールを決めるなどしています。このように子どもたちは、子ども自身で気づき、考え、話し合うことなどを経験しています。保育士は、子どもが自分で決めてやり遂げるにはどうしたら良いかなど、保育士間で話し合い、子どもの主体性を尊重した保育を実施するよう努めています。

◆子どもたちは、生き活きと園生活を楽しんでいます

園は「みんな違ってみんないい」として、一人ひとりの子どもの「好きなことに打ち込む」を大事にしています。園庭では、ダンゴムシを探し、チョウチョを追いかけ、泥水をジュースに見立て遊んでいます。タイヤ転がしをしていて倒れた子どもに「大丈夫？」と駆け寄り子どもの姿が見られました。子どもたちは、室内でも戸外でも自分で選んで好きな遊びを楽しんでいます。保育士は、一人ひとりの子どもの状況を把握し、日頃の子どもの姿を捉えるよう努め、活動を見守っています。普段の様子をいつも観察して、違う時は職員間で話し合い、また保護者にも状況を確認するようにしています。この様な見守りの中で、子どもたちは好きな遊びや活動を通して自分らしさを発揮し、生き活きと園生活を楽しんでいます。

◆職員が意見を述べやすい環境を作っています

園は、「保育をするうえで大切にしたい保育観」を職員に示し、それぞれの保育への想いを理解し合うコミュニケーションの大切さを説いています。年度末総括では、保育感のすり合わせを目的に「子どもの人権を尊重する保育」をテーマにグループワークをしました。園長は、普段の会話やミーティング、個人面談などの機会に意見や提案を聞いて保育の質の向上に向けて改善しています。法人の代表と職員の日常の意見交換の機会もあり、積極的に意見・提案がされ、確定拠出年金が導入されました。

◇改善を求められる点

◆さらなるマニュアルの整備と職員への周知が期待されます

各種マニュアルを作成していますが、整備されていないものや、どのような手順で行うのか具体的な方法や配慮事項などが示されていないものがあります。経験のある職員が多く、要点だけで把握することができますが、今後は新人職員等、どの職員が見ても一目でわかるようマニュアルの整備と周知が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

ぶどうの実鷺沼園が開園して10年、節目の年に今後の園の運営についての見直しや保育の質の向上のため、今回、第三者評価を受審させていただきました。

ぶどうの実鷺沼園の保護者皆様には、アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。保育理念を柱に、「勇気づけの保育」「裁かない保育」「見守る保育」の三指針のもと子ども主体の保育をしてきました。

今回、評価を受け、「みんな違ってみんないい」一人ひとりの子どもたちが、生き生きと園生活を楽しんでいると評価していただき、日頃、取り組んできた保育について自信につながりました。

今後も、一人ひとりの子どもたちに寄り添いながら、保育の質の向上に努めてまいります。

評価結果での課題点については、職員とも話し合い、今後のより良い運営をするため、改善に取り組んでいきたいと考えています。

これからも、保護者の皆様が安心して預けられ、子どもたちが健やかに成長し、地域に愛される保育園になるために、幅広い世代間との交流や情報交換等を積極的に行い、地域に根ざした園運営をしていきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり